

特別賞

オゾン層はなぜはいされるのか

本村小学校 梶 ありさ

オゾン層とはなくては命に関わることもある太陽のし外線から皮ふを守る大切な物だということを母から聞いたことがあります。しかし、そのオゾン層がはいされているとなると私たち人間は死んでしまうのかと思い、心配になりました。私たちのえいきょうでオゾン層がはいされているのならば私たちがそのことをやめればいいのではないかと思いこの題名にしました。

オゾン層が減ってきているということが、千九百七十年ころから明らかになってきました。特に南極上空では十月ごろにオゾンの量がいちじるしくへり、穴があいたようにうすくなっています。私は南極は寒いのになぜオゾンの量がへっているのか、と思いました。これはオゾンホールとよばれ、日本の南極越冬隊が初めて発見しました。のちに南極ばかりでなくい度が高い地いきから中くらいの地いきでもオゾン層の量がへってきていることが分かりました。オゾン層がへる主な原いんは、人間が使うフロンなどの化学物質が、大気中のオゾンをはいすることにあります。私はそのフロンというものを無くせばいいと思いました。しかし、フロンは冷ぞう庫やエアコン、スプレー用のガスなどに使われています。オゾン層まで上昇したフロンは、強いしがいい線に当たって変化し塩素をだします。この塩素がオゾンから酸素原子を一つうばい、オゾンをはいします。

オゾン層は、太陽からの有害なしがい線をきゅうしゅうして、地表にとどく量をへらすという重要な役わりをしています。またオゾン層には地球の大気の流れにえいきょうをおよぼし、こん日のような地球の気候を形成するのに、大きな役わりを果たしてきました。オゾン層は地球を守るバリアでもあるのです。

このままオゾン層が1%へると、皮ふがんになる人が7万人もふえると言われています。だからオゾン層は1%でもへってはいけないのだと思いました。オゾン層を1%でもへらさないようにするにはフロンを使わない冷ぞう庫をつくるのはもちろんですが私はできないので、冷ぞう庫を開けっぱなしにしないというのもフロンを上昇させられないからオゾン層を1%守れると思うのでこれから行いたいと思います。今、世界中でいろいろなオゾン層を守る取り組みがされています。千九百八十五年に百七十二カ国とE Cで「オゾン層のほごに

関するウィーン条約」ができました。それはオゾン層を守る条約でオーストリアのウィーンで開かれた国連環境計画の主さいの会ぎで採択されました。オゾン層のほごの対さく、研究などはかつ国が協力しておこなうことを決めました。私はこの学習をきにできるだけ電車を使いたいと思います。オゾン層のはかいは地球温だんかにもつながっているので電車を使いたいと思います。